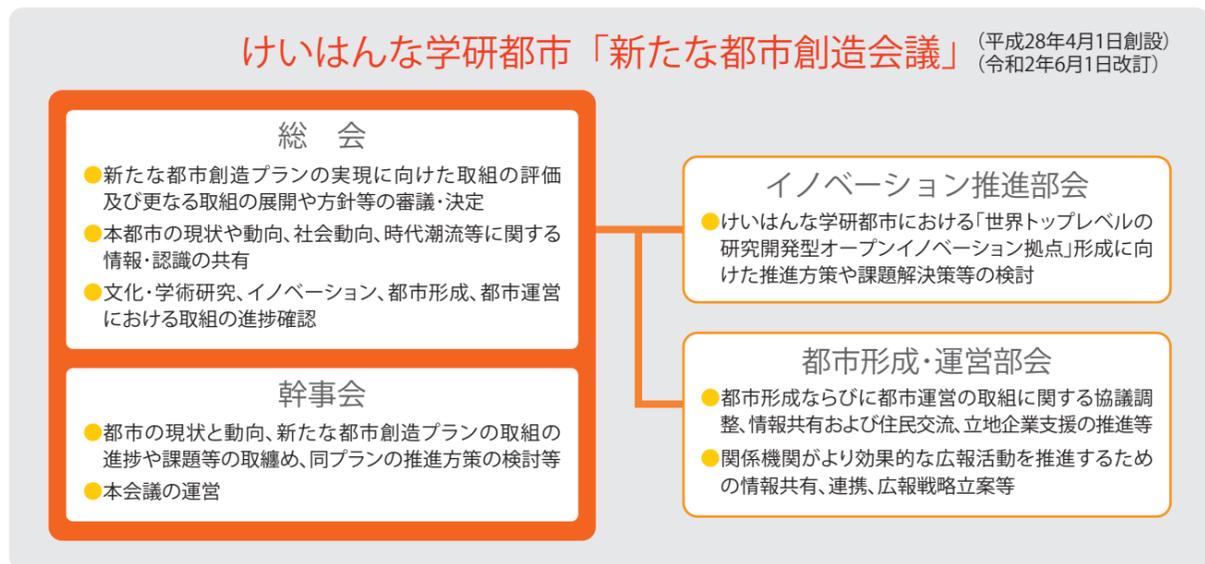


『新たな都市創造プラン』に基づき、相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制として
けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」が創設され、具体的な取組がスタートしています。



けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」 委員名簿

<会長>
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 理事長
<顧問>
日本学士院長(京大名誉教授) 井村 裕夫
公益財団法人 国際高等研究所長(京大名誉教授) 松本 敏
一般財団法人 アジア太平洋研究所長 所長(大名誉教授) 宮原 秀夫
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 関西研究センター所長(大名誉教授) 鈴木 胖
国立大学法人 京都大学総長 湊 長博
<委員>
学校法人立命館 立命館大学総合科学技術研究機構 上席研究員 村橋 正武
学校法人同志社 同志社大学 名誉教授 渡辺 好章
公益財団法人 国際高等研究所 副所長(京大名誉教授) 高見 茂
国立大学法人 京都大学経営管理大学院 特任教授(京大名誉教授) 小林 潔司
学校法人同志社 同志社大学 教授 千田 二郎
京都府公立大学法人 京都府立大学 教授 宗田 好史
国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 学長補佐 高木 博史
国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 教授 中村 哲
国立大学法人 京都大学経営管理大学院 教授 山田 忠史
公益財団法人 国際高等研究所 客員研究員(東京国際工科大学 教授) 駒井 章治
国土交通省 大臣官房審議官
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 イノベーション担当 参事官
総務省 国際戦略局 技術政策課長
文部科学省 大臣官房政策課長
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ地域企業高度化推進課長
総務省 近畿総合通信局長
経済産業省 近畿経済産業局長
国土交通省 近畿運輸局長
国土交通省 近畿地方整備局長
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長
公益財団法人 国際高等研究所 理事長
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所長
国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所長
国立研究開発法人 理化学研究所 理事
国立国会図書館関西館長
国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学学長
学校法人同志社 同志社大学学長
学校法人同志社 同志社女子大学学長
学校法人 大阪電気通信大学学長
国立大学法人 奈良女子大学学長
国立大学法人 京都大学大学院 農学研究科長・農学部学長
国立大学法人 大阪大学 理事・副学長
京都府公立大学法人 京都府立大学学長
公立大学法人 奈良県立医科大学 理事長・学長
独立行政法人 国立文化財機構 理事長 奈良文化財研究所長

けいはんな記念公園 管理事務所長
日本電信電話株式会社
NTTコミュニケーション科学基礎研究所長
パナソニック株式会社
テクノロジー本部マテリアル応用技術センター 2部 部長
大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所長
オムロン株式会社 代表取締役執行役員専務
CTO兼技術・知財本部長兼イノベーション推進本部長
京セラ株式会社 けいはんなリサーチセンター長
株式会社島津製作所 執行役員 基礎技術研究所長
サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員
ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都 所長
参天製薬株式会社 奈良研究開発センター 施設長
積水ハウス株式会社 執行役員 総合住宅研究所長
日本電産株式会社 執行役員 生産技術研究所 副所長
公益社団法人 関西経済連合会 専務理事
京都商工会議所 専務理事
大阪商工会議所 専務理事
奈良商工会議所 専務理事
関西電力株式会社 理事 ソリューション本部 副本部長
大阪ガス株式会社 理事 京都・滋賀地区統括支配人
西日本旅客鉄道株式会社
常務理事 近畿統括本部副本部長 大阪支社長
近鉄グループホールディングス株式会社 事業戦略部長
京阪電鉄不動産株式会社 取締役 事業推進部長
関西文化学術研究都市センター株式会社 代表取締役社長
京都府 副知事
大阪府 副知事
奈良県 副知事
京田辺市長
木津川市長
精華町長
枚方市長
四條畷市長
交野市長
奈良市長
生駒市長
独立行政法人 都市再生機構 理事 西日本支社長
株式会社けいはんな 代表取締役社長
ならやま研究パーク協議会長
関西文化学術研究都市 高山地区 立地施設等連絡協議会長
津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会長
けいはんな学研都市 精華地区 まちづくり協議会長
関西文化学術研究都市 精華・西木津地区 研究機関協議会長
木津川市立地企業等懇談会 幹事

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 (けいはんな学研都市)けいはんなプラザ ラボ棟3F
TEL.0774-95-5105 FAX.0774-95-5104 URL.https://www.kri.or.jp/

けいはんな学研都市



『新たな都市創造プラン』の概要

けいはんな学研都市の35年間の到達点

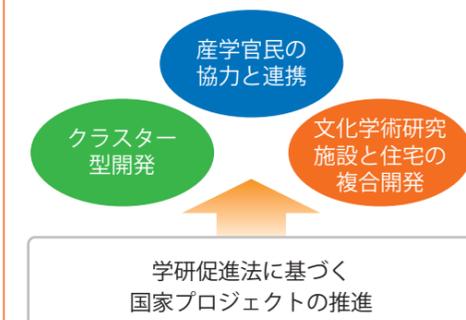
東の「つくば」が国の主導で国の機関を集約的に配置しているのに対し、西の「けいはんな」は以下の3つの特徴を有しています。

- ①産学官民の協力体制で整備
- ②時代潮流や事業熟度に合わせて順次整備するクラスター型開発
- ③文化学術研究施設と住宅地との複合型の開発

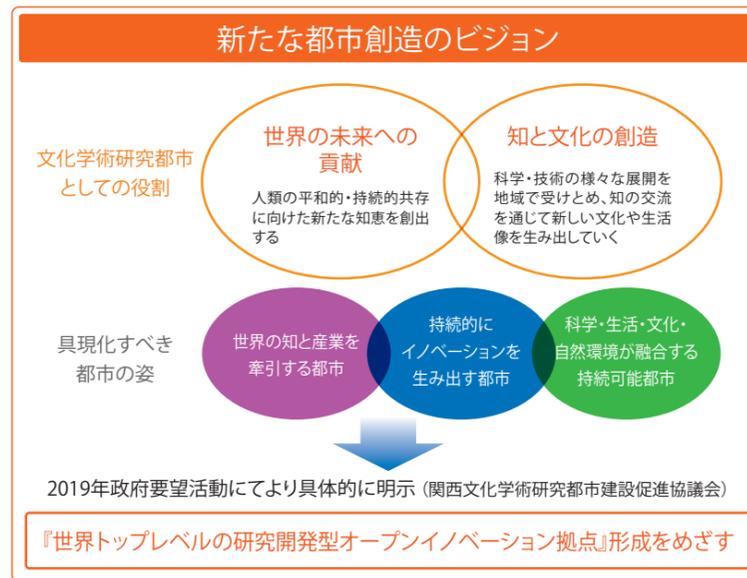
昭和62(1987)年の「関西文化学術研究都市建設促進法」の制定以来概ね35年。立地施設は150を超え、人口は約25万人と着実に発展してきました。

立地機関や住民が本都市に立地し居住するメリットを相互に享受し、様々なネットワークを生み出しながら新たな価値を創造する都市として、いよいよ花開こうとしています。

[けいはんな学研都市の3つの特徴]



新たな都市創造プラン (2016▶2025) ～けいはんなが目指す姿～



京都府、大阪府、奈良県の3府県8市町に跨る「けいはんな学研都市」は、数多くの主体の集積や多様性を大きな強みととらえ、関連する地域、組織との連携も深めています。そして関西圏域全体の文化学術研究都市として役割を果たし、世界に向けて存在感を高める段階にきました。

本プランは、①集積する多様な主体が集積の強みを相互に活用し合うための持続的な「高度な都市運営」の体制を備えた地域を創造する、②これまでにない新たなまちづくりを実現する、の2つの意味において新たな都市を創造していくことを目的として、「新たな都市創造のビジョン」とともに、新たな体制及び都市の概ね10年間の方向を示すものです。

前半5年間 (2016▶2020) の取組を踏まえた課題

- **イノベーションの強化**
「産官学金住」連携によるイノベーション創出基盤を活かした投資の呼び込みの拡大
- **学術研究成果の広域展開**
新産業創出・イノベーション推進成果の学研都市全体および周辺地域への波及の促進
- **交通ネットワークの構築**
母都市およびクラスター間の交通利便性向上とスマートシティの実証成果の社会実装

ビジョン実現に向けた4つの取組

前半5年間の取組の一例

1 科学技術と文化の融合で知のフロンティアを開拓

文化・学術研究の振興



【公益財団法人国際高等研究所】
1984年の創立以来、「人類の未来と幸福のために、何を研究すべきかを研究する」を基本理念に活動。けいはんな学研都市地域の振興に向けた研究会などを開催。



【国立国会図書館関西館】
2020年、書庫棟(右)が竣工し、収蔵能力は500万冊増の1100万冊に。電子図書館機能も充実。



【平城宮跡歴史公園】
2018年、奈良の歴史・文化・食が交わる新拠点「朱雀門ひろば」が開園。新たににぎわいの場が蘇る。

2 オープンイノベーションで世界に展開

イノベーション推進



【けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会】
異分野融合研究開発、人材育成、事業化支援等を一体的に推進し、グローバルイノベーションを創出。



【AIJプラットフォーム】
ASEAN、IORA諸国と連携し、イノベーションや新事業・新産業創出に向けた仕組みを提供。連携プロジェクトへの支援を行う。



【けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)】
先進的研究開発を支援する拠点。ロボット技術センターや5G基地局、MC-lab等により、実証実験を支援。

3 世界に先駆けスマートな暮らしを育む次世代インフラ整備を促進

都市形成



【都市計画道路 山手幹線】
2018年3月、京都府道八幡木津線宮津菱田工区が開通。これにより国道1号より精華大通りまでのネットワークが形成。



【奈良交通 連節バス「YELLOW LINER 華連(KAREN)」】
2018年3月より、祝園駅と精華西木津地区中心部で運行開始。公共交通の利用促進によりCO2削減も目指す。



【K-PEP】
2021年2月、新たなビジネスモデルの確立に向けた自動運転サービスの実証事業をサポート。

4 相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制の構築

都市運営



【新たな都市創造会議】
「新たな都市創造プラン」の実現に向けた取組評価や展開方針を審議決定するなど、けいはんな学研都市の相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制。2016年創設。



けいはんな学研都市が取り組む 重点目標

SDGsに資する世界トップレベルの研究・歴史・文化の集積を活かした世界の課題解決のための拠点

大阪・関西万博の成功とSociety5.0の実現を見据えたイノベーション創出を担う市民参加型実証・実装拠点

災害に強い地の利を活かし、国家機能を維持するバックアップ拠点の一翼を担い、Withコロナ社会の東京一極集中是正による分散ネットワーク型社会拠点

■「新たな都市創造プラン」後半(2021▶2025)の主な施策・取組

1 イノベーション推進拠点の形成

グローバル課題・国内外の社会構造変革への対応

国際研究開発拠点

「研究成果の事業化を促進する環境」の一層の充実

- >実証創造コーディネート機能の強化
- >スタートアップ・エコシステム機能の強化
- >研究開発機能の強化

世界中から優れたアイデアや技術を持つイノベーターや研究者を集める

世界トップレベルの研究開発型オープンイノベーション拠点

国家を代表するサイエンスシティとしての成り立ちと資産を活用し、国内外のプレーヤーとの共創を重視した「新しい価値を創造する都市」

▶2025大阪・関西万博との連携

開催期間：2025年4月13日～10月13日
開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)



- 「けいはんなで大阪・関西万博を考える会」の運営
- 「けいはんなプラットフォーム(実働チーム)」の運営および個別プランの支援
- TEAM EXPO2025へ参画及び博覧会協会との連携
- 既存イベントの活用(主に当機構が主催者や協力者となっているイベント)



提供：2025年日本国際博覧会協会

2 都市形成・都市運営

スーパーメガリージョン、持続可能国家の形成

▶交通ネットワークの構築

新たな都市創造会議「都市形成・運営部会」において、都市全体の交通ネットワーク拡充策を検討

▶未整備クラスターの整備推進

新たな都市創造会議「都市形成・運営部会」において、各クラスターが抱える課題を共有し解決策を検討

▶スマートシティの推進

デマンドバスなど多様な移動手段の確保やモビリティハブの整備など「ラストワンマイルモビリティ」の導入 服薬・食事・健康管理支援、外出支援、体調管理など「AIデバイスによるライフサポートサービス」の実現等

▶ニュータウン活性化と地域再生

平城・相楽地区をはじめとする本都市内のニュータウン活性化に資する取組への参画 本都市周辺開発計画の検討会等への参画・連携等

3 第5ステージに展開するあるべき姿の検討

長期ビジョンを共有し、都市全体の価値を向上

▶「世界トップレベルの研究開発型オープンイノベーション拠点」の目標像をベースに、関連する各種中長期計画と連動を図り、「けいはんな学研都市」のあるべき姿について、さらに次の10年を念頭に引き続き検討を行う。